

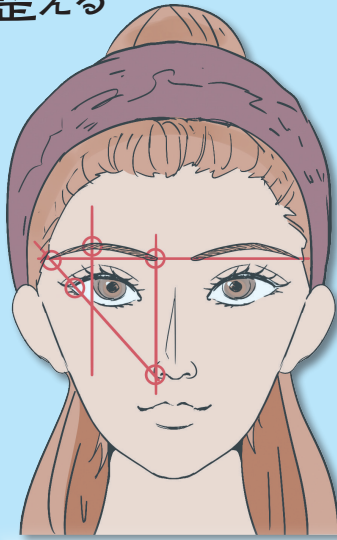
1 ブラシで整える

数年前なら、小鼻と目尻を結んだ延長線上が眉尻の位置といわれていましたが、ここ最近では、口角と目尻の延長線上に設定した眉尻が流行の兆しです。

太さも自分の黒目の3分の2が理想的。また、眉と目は同時に動くので、眉尻の角度は目尻の角度に揃えると自然な印象に仕上がります。

この3つをベースに、なりたいイメージにあわせて長く、短く、太く、細く、なだらかに、鋭角になど、自分なりのアレンジを楽しみましょう。

まずは、スクリューブラ



アイメイク

シで自眉毛を毛流れに沿って整えてみましょう。

【美眉を作るためのアイテム】

眉メイクが上手に描けないと悩んでいる方の多くは、一つのアイテムで完成させているからです。眉メイクには、毛流れをつくるスクリューブラシと、毛の足りない所を描き足



すペンシル（眉墨）、眉色を変えるマスカラ、眉フレームを作るパウダー、無駄な産毛を剃るシェイバーや毛抜きなどが必要になります。



【顔の筋肉の発達】

顔の筋肉が左右でちがうと、眉も非対称になってしまいます。たとえば、前髪が片目にかかり見やすいほうの目ばかり使っていると、筋肉が片側だけ発達して眉の高さにも違いがでてきます。目にかからない髪型を意識したり、分け目を定期的に変えるなどで、左右対称になるように心がけましょう。